



2010～2011

沼田ロータリークラブ会報

地域を育み、大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITY BRIDGING CONTINENTS

2010～2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

例会日…毎週火曜日 12:30 会長 松野正一 幹事 津久井功 会報編集 綿貫利彦
例会場及事務所 沼田市東原新町1540 利根郡信用金庫本店内 TEL 0278-24-1177

第2635回 例会報告

2011年2月24日

記録 塩沢岳夫

例会予告

3/1	新入会員卓話	林武一郎会員
3/8	"	高橋良治会員

<http://www.rid2840.jp/numata/>

2011年3月1日発行 №32

沼田・沼田中央合同例会

新しい日本の希望の芽が見える

国際エコノミスト 今井 澁 先生

於 ホテル ペラ・ヴィータ



■講師紹介 沼田中央RC高橋和朗幹事

先生は1935年東京生まれで、慶應大学経済学部を卒業後、1959年山一証券に入社され、30年間シンクタンクや投資顧問をされ、89年に日本債券銀行に顧問としてスカウトされました。97年以降は、慶應大学他で講師や国の委員やTVにもエコノミストとして出演され活躍の巾を広げています。

沼田には2度目となり、以前群銀沼田支店でご講演されております。また、8年前まで浦和RCにも在籍されておりました。

本日は、「新しい日本の希望の芽が見える」と題して経済についてお話しいたします。

■講演

沼田で再度講演させていただき光栄です。日本の希望の前に、今起こっている中近東と

原油の問題、菅政権がいつまでもつのかについて触れておきます。

◎アラブ問題と原油高

アラブや中近東に詳しいのは小池百合子先生です。先生とはキャスター時代からの付き合いで、昨日も電話で話しました。8500万人のエジプト人がキーポイントで、スエズ運河もあります。政変は18日間で終わり、軍部に全権が渡され選挙を行う事で納まりました。小池先生の見通しでは、アラブ連盟事務局長しているエジプト人が人気もあり親米派なので、その人が大統領になるだろうと言っていました。今の原油高は、一連の混乱からで、リビアの内乱が主原因でなく、リビアは多くの原油は出荷してないし、埋蔵量も多くありません。ただ、アメとムチで、住居費・

教育費はかからず失業者も少ないが、反対者には弾圧が強いので不満が爆発しています。人権ランキング最下位は北朝鮮、次がミャンマー、その次にリビアですので、欧米は民主化を歓迎しています。エジプトの場合は、米国が等距離を保ちつつ軍部と協調した様です。リビアは部族対立もあり長くなるかもしれません。

チェニジアからはじまった支配階級と民衆の対立が、バーレーンまで起こっています。この国は、温和な国民性ですが貧富の差による不満が動乱となりましたが、石油はありませんので航海安全だけです。今の所一過性に終わると思われませんが、民衆の自由に対する要求は止められず、ベルリンの壁現象化するかもしれません。米国はサウジアラビアへ影響されないよう注意を払っています。中国も民主化を恐れ6万人でネット監視しています。今のところ、スエズ運河の安全は保っていますので、原油高は一時的なもので終わると思います。イラクとイスラエルの関係をエジプトも米国も注意しています。

◎菅政権はどうなるの？

日本国内は、菅政権がたよりないのですが3月危機は無く、昨年9月にできた政権が3月で交代は、自民も継続したかたなしと思われ、民主も解散で大敗が見えているが、次の顔が無い。岡田氏は無理であり、政権が集中する幹事長に旨み味を感じています。小沢氏と話せて40～50代に代替わりという話がでています。樽床、野田、前原等が挙り彼らは松下政経塾です。予算を通して6月サミットで終わりという線が強いと思われ。菅総理は外交で成果を挙げています。アメリカと友好関係を保ちボリビアのリチュウム、ベトナムの原発と新幹線等得ています。これらは、米国の対中政策の変化も影響しています。中国の横暴な外交経済に対し手を打ちはじめました。元安によるデフレをインフレにして、中国内もインフレにする。元気のない日本を再生し中国に対抗させるため梃子入れもはじめました。EV自動車急速充電方法をダイムラーでなく、日本方式を採用。トヨタのリコール問題を修正し、日本新幹線も採用をめざしている。南沙諸島、北朝鮮、尖閣諸島等の問題で中国と米国は、冷戦化しています。

尖閣事件での日本政府の弱腰には国民があ

きてしまいました。その上中国は対抗措置として、邦人逮捕、レアアース輸出停止など世界に中国の傲慢さを示しました。尖閣問題は、新華僑と言われる3～5代目の世界に出ている中国人が、アメリカでキャンペーンを行い、今年の6月17日1000漁船で島を囲むと宣言しています。沖縄まで中国の領土だと言っています。たぶん騒がせて反日運動を行いガス抜きをして、反政府運動の前で止めるでしょう。

◎中国の動向は？

中国内でも不安定になっている情報が韓国よりありました。中国の青島と韓国仁川を結ぶ高速フェリーがあり、仁川の中小企業が青島に自社100%出資の工場を作り製造してた9000社が、09～10年で1800社しかになり、そのほとんどが夜逃げ状態だったそうです。労働者の賃金が上り韓国内より高くなってしまった結果です。インフレ率を抜きにして毎年12%上り、インフレ4%を入れ10年間毎年16%も上り続けています。中国の人口は、7割農業地、3割都市と言っていますが、実は5部5部です。田舎には、老人と子供だけで、労働人口の多くが都市部です。北京近郊の農地は公社が安く買い上げ、マンションにして高く売ります。工場等外資と共同出資で作りますが、土地は地元が出資し設備建物は外資になっています。労賃が安ければ良いが今では、世界の企業は来なくなっています。インフラに関しても無駄が多く、利権が絡みコストが高くなり、それを国は地方に、地方は外資に負担させるので手を出さなくなっています。広州と武漢を結ぶ新幹線が1日6往復で利用者1000人で大赤字です。地下鉄や高速も同様です。各国は中国から東南アジア諸国に生産を移しています。その中でもベトナムに進出が多くなっています。トヨタは、宮城県に19年ぶり国内新工場を建設します。1ドル50円になっても利益を出すシステムを作り、中国での生産を少なくするようです。中国経済も限界が見え、一党独裁の政府をどう守るのか問われはじめています。

この様に中国は、内外共に不安定になってきていますので、ご注意下さい。

◎日本の景気はどうなる？

良くなって来ています。需給ギャップで物余りになっていましたが、リーマンショック

で調整ができました。車の生産は、トヨタで61%になりましたが、輸出が戻りつつあり臨時社員が正社員化しています。家電でも、商品の世代交代や、中国人の買いが増加し好調です。中国の一人子政策により80年代生まれが30才になり「80後」と呼ばれ購買層の中心になり、パソコンを使い自由に買うので安い韓国製より日本製を選びます。円高でも関係なく日本メーカーのシェアは高まっています。ただ、内需でないので来年からはつきりします。そして来年は20年に一度の選挙の年になり、アメリカ・ロシア・フランス・韓国・台湾、そして中国も国家の長が選ばれます。この年は世界中で景気が上がります。

今年の景気は不況ではないが、「2011年の景気とかけて、ゴルフのホールインワンととく、その心は、パットしない」となります。◎日本国の未来は？

世界のアンケートで小学生に将来の希望について文科省がしました。日本の小学生は、希望を持っていないNo. 1でした。経済大国として頑張っていた反動で苦勞している親を見て答えたのでしょうか、心配はありません。7～8年かかるかもしれませんが、資源大国として元気になります。国土は大きくありませんが、排他的経済水域を入れると世界第6位の広さで、海底資源が豊富にあります。

尖閣付近には、1000億バレルの埋蔵量があり、サウジ・イランの上位2ヶ国に続く、イラクと同じ量がある。ですから中国は仕掛けて狙っています。中国は今のままの使用料と成長率で計算すると4年後は4倍の石油が必要になります。ここは、日米関係を良好にしていれば、守られます。一部米軍の射撃場にもなっていますので、問題の時すぐに安保に対するコメントを発表しました。軍事評論家は、中国と戦争しても勝てるが日本の方が犠牲が大きいと予想しています。尖閣は大陸に近いので、パイプラインで日本本土を結ぶより、中国で精製して入れた方が安全でコスト安になるので、互いに分けメジャーの顔も立てた方が良い方法であります。

天然ガスやメタンガスの凍ったものが紀伊半島から四国、九州の太平洋近海にあり、日本の94年分の使用量があり、少なく見積もった量ですから、倍近くあると思います。海

底の1000－1500m位に資源が集中していて、金属も多くあり、金・銀・銅、レアメタル豊富でその採掘技術は、日本が一番持っています。12年からテストを行い、18年頃より本格化をめざしています。金は米国に8000tありますがそれと同量が埋蔵されています。

海底資源が現実掘り出されるまでの間はがまんですが、その後は明るくなるでしょう。

株の世界には、時代が変わる時に変化によるサインを出します。取引証券所が明治11年にでき、昭和20年まではほぼ横這いで、軍事関係が良かったですが、戦争中戦後は貧しくしていましたが、昭和24年に転機ができました。中国では毛沢東が国を治め、ソ連と共に共産国として手を結び、それに米国は対抗するため日本とドイツを立て直す方針にしました。それ以来経済は右肩上がりの成長と豊かな暮らし、文化発展を成し遂げました。株価も最高38000円を付けたりもしました。バブル崩壊、金融危機を乗り越え、右肩上がりが止まりましたが、2008年証券が変化も示しました。海底資源を本格的に国が取り組みはじめ、福田総理の時決め、麻生時代も民主党を入れて引き継ぎました。来年には希望が現れてくると思います。東シナ海油田、メタルハイドレード、金銀銅の鉱床の権利で国が利益を生みますので、国債は不用となり返済も進みます。イギリスは北海油田で立ち直り、75年から30年は成長できました。財界はマスコミにこの話を止めています。2年位すると表面化して現実のものとなるでしょう。

日本の未来はだから明るいのです。かつて平安末期の黄金期、中世の銀、黄金の国ジパングでした。日本は強気で進めば良いのです。ただ、あと数年消費税でつなぎ辛抱しなくてはなりません。

これらのチャンスにはツキが必要です。日本のピンチには、鎌倉時代末期元寇では台風、江戸期末の無血開城を行った勝海舟。節目のピンチにはうまい事になるようになっていきます。もう日本にツキはない、明るさもないと言う評論家もありますが、私のように強気な事を言うのは大変であります。

ロータリーの皆様方と明るい日本、望み多き日本を信じてまいりたいと思います。

例 会 報 告



■司 会

田中正治沼田中央RC S A A長委員

■ソング 奉仕の理想 北野光司郎君

■来賓及び来訪ロータリアン
国際エコノミスト 今井 激様

会長の時間

■沼田中央RC 金井利夫会長

今井先生にご講演いただき、経済情勢に関して内外共に興味深いお話しありがとうございます



いました。本日合同例会で、沼田RCの皆様にお世話になり感謝申し上げます。

■沼田RC 松野正一会長

沼田中央RCの皆様に設営いただき感謝申し上げます。貴重な今井先生のご講演をいただき併せて感謝いたします。年に一回位は合同で例会を行い、懇親を深めるのは良い事と思います。

